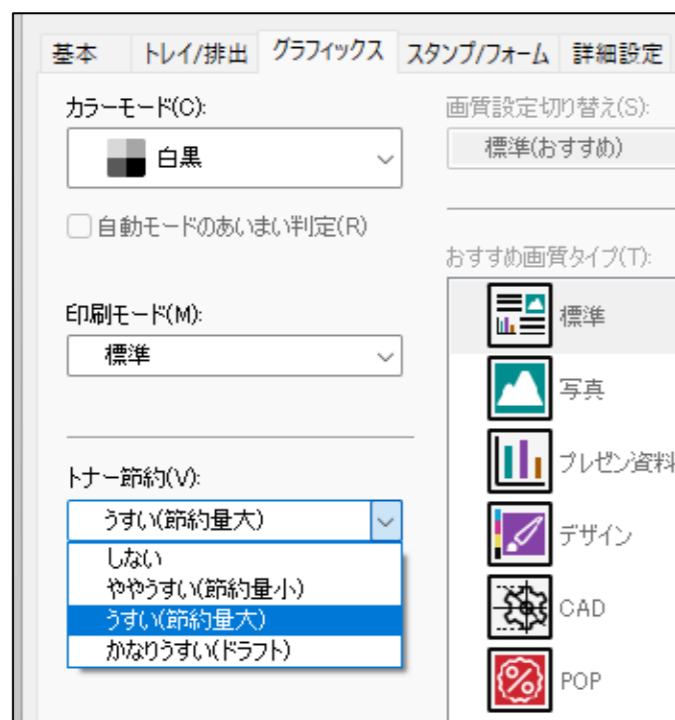


■今年度の活動内容設定時に参考とした「他校の環境に関する取組」 本校は紙面配布の割合が多いので用紙の削減に一層努めるため、萩園中学校の「基本的にメール送信」を参考にした。					■今年度のグリーンカーテン実施状況 (朝顔、ゴーヤ、へちまなど) <input type="checkbox"/> 実施した ■実施していない	
取組テーマ	取組目標	具体的な活動内容	担当者	活動主体	取り組んだこと、その実績	1年を振り返って
環境についての学習	地域環境やその保全について理解を深める。	1 気候変動、地球温暖化やSDGsについて学ぶ	教員	生徒 教員	・3年生英語…①エネルギー問題に関する説明文を読み、自分の考えをまとめた。②環境に優しいファッションの取り組みについて学んだ。③絶滅のおそれのある動物について知り、大切なことや取るべき行動について考えた。④防災・安全への意識を高め、地域の一員として取るべき行動を考えた。 ・2年生国語…①「クマゼミ」の増加がヒートアイランド現象によるものであるという論説文を学んだ。地球温暖化によって他のセミが減少していくことにつながることも知った。②3人の人が主張する「環境問題を解決するために必要なこと」を読み、自分の考えを意見文にまとめた。 ・3年生理科…再生可能エネルギーのそれぞれのメリット、デメリットを比較し、今後のエネルギーについて考察した。 ・3年生保健体育…生活排水やごみ処理について学んだ。 ・2年生家庭科…着られなくなった衣類を再利用して、クッションの制作をした。使えないものを使えるようにする体験をした。 ・3年生総合…地域の清掃に取り組んだ。(市役所環境保全課に協力していただいた)	【取組の評価】 <input type="checkbox"/> 達成できた ■ほぼ達成した <input type="checkbox"/> 達成できなかった 【理由】 教科の中で教材として扱うことができたことと、工夫を凝らして取り組んだことが混在しているから。 【今後の課題】 知識として学ぶことはできているので、アクションとして生徒とともに行動できる項目を取り入れていくこと。 【次年度への引継ぎ事項】 教科と総合的な学習の時間を横断するような学習につなげられるとよい。
		2 ・学校周辺の自然について調べる ・様々な材質とリサイクルについて学ぶ ・外来種の生態系への影響について学ぶ	教員	生徒 教員		
		3 ・自然災害を知り、身を守る知識を得る ・環境汚染・水の役割・生活排水・ゴミ処理を学ぶ	教員	生徒 教員		
		4 ・発電方法について学ぶ ・食品の廃棄やフードマイレージ、循環型社会推進のための消費者の行動を学ぶ	教員	生徒 教員		
省エネルギーの推進	電気、水、紙などの資源を大切にすることを学び、実践する。	1 移動教室や下校時の消灯を確実に行う	教職員 生徒	教職員 生徒	・日直や係などで自主的に取り組むシステムを作り、確実に行うことができた。 ・電源オフの呼びかけができた。 ・裏紙の使用が“当たり前”となっている。 ・意識的に取り組めるよう、もっとアピールが必要である。	【取組の評価】 ■達成できた <input type="checkbox"/> ほぼ達成した <input type="checkbox"/> 達成できなかった 【理由】 どの項目も当たり前に取り組めるようになってきているから。 【今後の課題】 プリンタのトナー節約を全職員で取り組めるように周知徹底を図る。 【次年度への引継ぎ事項】 ワックスを無駄なく使い切るため、使い切れるサイズ(900mL)で、丈夫なペットボトルに変更していく。
		2 ・特別教室にもエアコンが設置されたため、適切な使用の学校全体での徹底を図る ・扇風機の移動教室時の電源をオフする ・窓の開放、衣服の調節を取り入れる ・職員退勤時のPCは電源をオフする	教職員 生徒	教職員 生徒		
		3 裏が白紙の活用、授業の提出物等のiPad活用を推進する	教職員	教職員		
		4 プリンタのトナー節約…用途に応じて「うすい」「ややうすい」を選択する。	教職員	教職員		
リサイクルの推進・ごみの削減	ごみの分別・リサイクル活動を推進し、廃棄物を削減する。	1 電子データの活用や裏紙使用による印刷物の削減を推進する	教職員	教職員 生徒	・職員会議はペーパーレス化できている、裏紙使用のスタンプもあり印刷物の削減ができている。 ・教室にも燃えるごみのゴミ箱だけでなく、プラスチック用のゴミ箱がある。燃えないゴミは階段下に専用のゴミ箱があるので分別が徹底されている。 ・ベルマーク運動、牛乳パックのリサイクルはどちらにも取り組むことができた。	【取組の評価】 ■達成できた <input type="checkbox"/> ほぼ達成した <input type="checkbox"/> 達成できなかった 【理由】 リサイクルや分別が“当たり前”となっているから。 【今後の課題】 全体ではリサイクルできる環境を整えている。しかし、職員によって個人差があり、大量の裏紙が古紙に出されていることがあったので、意識共有を図りたい。 【次年度への引継ぎ事項】 一人ひとりのモチベーションアップを図るため、整備委員会と連携を図りたい。
		2 ごみの持ち帰りや分別を徹底して行う	教職員	教職員 生徒		
		3 委員会活動の一環のベルマーク運動に牛乳パックのリサイクルを活用する	教職員 生徒	教職員 生徒		

●写真等の記録:活動や発表の風景等取組の記録を、必要に応じて添付してください。写真等の下に、キャプションをご記入ください。個人情報の取り扱いにご注意ください。



試しのプリントだけでなく、読める程度でよいものは
トナーの節約をしている。

●学校長(推進責任者)によるコメント

【学校長名】

羽場 由佳子

【今後の方向性について】

本年度は、各教科や総合的な学習の時間を通して、環境問題を多面的に学ぶ機会が充実していました。知識の習得だけでなく、地域清掃やリサイクル活動など、実際の行動につながる取組が「当たり前」として根つきつつあることを大変心強く感じています。職員・生徒ともに、節電、裏紙活用、分別など、日常的な環境配慮が定着してきた点も大きな成果です。

一方で、職員間の意識差やトナー節約など、運用面での改善余地も出てきました。次年度は、教科と総合的な学習をより横断的につなげ、生徒とともに「学びを行動へ」発展させる仕組みづくりが重要になります。また、整備委員会との連携を深め、職員一人ひとりが主体的に関われる環境づくりを進めていくことが、学校全体の意識向上につながると考えます。